令和４（2022）年度　主催事業報告

長崎県立佐世保青少年の天地
（令和５年３月25日現在）

No.	事　業　名	期　日	参加数	所　感
1	第１回さるこう会 (通算87回)	5/10(火)	27名	好天でスタートした今年のさるこう会、蕗や美しき天然のゆかりの滝などを紹介しながらの、ゆったりとした約 5km の散策となった。普段の登山者が歩かないようなルートが好評を得た。
2	第５期第１回 アドベンチャースクール	5/14(土) ～5/15(日)	12名	野外体験活動を行いながらの環境学習。ブルーギルについて学び捕獲し観察を行った。釣果は前回11月に比べ約10倍の50匹と大漁だった。 炊さん活動では、火おこし、薪拾い、材料切り、後かたづけと、自ら仕事を見つけ率先して行い、非常にスムーズな進行となった。
3	第15回新緑を歩こう会	5/22(日)	36名	やや汗ばむ陽気の中、天地から隠居岳までの往復約15kmを歩いた。野いちご、キイチゴ、桑の実が食べ頃を迎えはじめた時期で、特に参加した子ども達が舌鼓を打っていた。隠居岳中腹の群生するヤマツツジは、見頃を迎えており初めて参加した方からは、この様な名勝があったのかと感嘆の声も聞かれた。
4	親子体験教室第１回 絵付け陶芸	6/19(日)	67名	昨年に引き続き、参加者多数で２研修室を使用しての開催となった。思い思いの文様やキャラクターなど、今年もこだわりのある素敵な作品が豊富だった。
5	第２回さるこう会 (通算88回)	7/12(火)	28名	烏帽子岳西側の登山道を中心に約 4.8km の道のりを歩いた。汗ばむ程度のほどよい気候の中、一部急な登りも交えながら山歩きを楽しんだ。
6	第３回 夏休み工作教室	7/30(土)	63名	焼き杉板や木製ペンダント、杉の輪切りと塗料やビーズなど装飾の材料を用意し、子ども達の自由な発想に任せて工作を行った。板を組み合わせたりカラフルな色づけだったりと、想像以上の出来映えがみられた。
7	第１期第１回 森のキッズたんけん隊	8/4(木)	21名	人なつっこい賑やかな 1･2 年生の集まりで、元気に遊具場やテントサイトを走り回り、意欲的にゲームに取り組む姿が印象的だった。
8	第１期第２回 森のキッズたんけん隊	8/18(木)	13名	第１回に比べおとなしめの集団という個性の違いが見られた。午前中の天候の不安から館内での活動、午後は屋外でゲームを楽しんだ。
9	冒険少年キャンプ (三施設連携事業)	8/20(土) ～8/24(水)	中止	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、宿泊を伴うことから中止
10	第３回さるこう会 (通算89回)	9/13(火)	46名	旧山手小烏帽子分校の児童が本校へ通う際のルートを田代町まで下り、市中心部の学校の遠足ルートを登るやや長めの 6km を歩いた。比較的穏やかなルートということや上記のようなエピソードもありよい雰囲気で楽しむことができた。
11	第22回 リトルキャンピング スクール	9/17(土) ～9/19(月)	中止	新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、宿泊を伴うことから中止
12	第２回親子体験教室 デイキャンプ	9/25(日)	27名	薪拾いに精を出し、マッチに悪戦苦闘する子どもの姿が印象的。また、火が起こった後は他の家族の子ども達と炊さん場周辺で遊ぶ光景もあった。カレーも試食のダッチオーブンによるチキンも好評だった。

13	第 3 回親子体験教室 野外炊さん	10/15(土) ～10/16(日)	42 名	オリエンテーリングによる秋探しミッションでどんぐりや松ぼっくりを収集。炊さんではメタルマッチの体験も行った。第 2 回のデイキャンプに比べ子ども達の年齢層が高めで、食材を切ったり火守をしたりと「手伝う」姿も多々見られた。
14	第 3 回 秋嶺の烏帽子を歩こう会	10/29(土)	42 名	4km 弱の山道を、ムカゴなどの秋の恵みを採取しながら歩いた。ムベは熟すには若干時期が早かったものの、初見という参加者もおり、参加者と自然の恵みへの理解を深めることができた。
15	さるこう会特別編 芋掘り(通算 90 回)	11/3(木)	60 名	畑の場所により出来具合に差が見られたが、好評を得た。落ち葉による焼き芋もおいしくできあがった。また、芋づるを持ち帰る人も多数。
16	第 10 回 天地フットサル交流大会	11/5(土) 11/6(日)	18 チーム	保護者の声援を受け、白熱したプレイが繰り広げられた。前回の参加から大きく成長した姿も感じられた。
17	第 4 回さるこう会 (通算 91 回)	11/8(火)	43 名	日宇方面の学校のかつての遠足ルートを散策した。最近は歩く人が少ないこともあり、やや荒れ気味の道で、また勾配もあることから足への負担があったもののゆったりとした山歩きで達成感を齎した。
18	第 2 回 秋の夜空の観望会	11/8(火)	52 名	皆既月食に合わせビュースターによる観望会。望遠鏡を通し生で見る木星とガリレオ衛星、土星とその環、そして赤みを帯びた月の食に感動の声が上がった。
19	親子体験教室第 4 回 もちつき	12/17(土)	62 名	小雨小雪の気象条件ではあったが、催事用テントを用いるなどして実施。力強い搗きが小学生や女性保護者にも見られ、大きな戦力となった。持ち帰りの他、炭火であぶった餅を入れた雑煮もよかった。
20	親子体験教室第 5 回 ケーキデコレーション	12/24(土)	中止	積雪のため安全上の観点から中止
21	第 5 回さるこう会 (通算 92 回)	1/10(火)	40 名	過去 2 回と比較して緩やかで距離も短めのコースを歩行。烏帽子岳山頂からの眺望を堪能し、常緑樹の緑で癒やされながら遊歩道を歩いた。
22	第 1 回 中学生のつどい in 天地	1/22(土) ～1/23(日)	中止	年明けの新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止
23	第 40 回 冬山を歩こう会	1/28(土) 1/29(日)	65 名	数日前の寒波とそれに伴う残雪の影響もあり、若干のキャンセルはあったものの、登山道や道脇の残雪が冬山らしさを演出し、季節をより感じられる山歩きとなった。また、ふきのとうなど春の訪れを予感させるものもあった。
24	第 5 期第 2 回 アドベンチャースクール	2/11(土) ～2/12(日)	23 名	野外活動を通しての環境学習。森の清掃をテーマにゴミ拾いと森の整備を行った。ゴミ拾いでは積極的に森に入り込み多種多様なごみを集めた。森の整備では大量の杉の葉を収集し、翌日の炊飯に備えた。うどんづくりでは少なめの水で生地をこねるのに苦戦していた。
25	第 1 回 6 時間えぼしたすきリレー	2/25(土)	5 チーム	コロナ禍で中止が続いた 24 時間たすきリレーが装い新たに 6 時間たすきリレーとして再出発。天候もよく、久しぶりの再会を喜びつつ、1.33km の周回路を各チームがたすきを繋ぎ走り抜けた。
26	第 6 回さるこう会 (通算 93 回)	3/14(火)	43 名	旧市営キャンプ場を経由し風と星の広場から裏道を通り、山頂へ。最後の登山道は急でかなり頑張った方もおられたが、無事に登頂。倒木などを除去し新たに回復させた山道も通り、春の心地よい空気を満喫した。

27	第 2 回 春のランチ会 in 天地	3/21(火)	65 名	あいにくの天候ではあったが、こどもから大人まで幅広い参加者が集まった。生地をこね、トッピングを施し、窯で焼いて手作りのピザを味わった。
28	天体観望会	通年	2,376 名	移動観望会 6 回 2,034 名、施設観望会 4 回 342 名
29	第 7 期 チャレンジスクール		54 名	学校を対象にした仲間づくり
30	野外活動体験会	8 月 2,3,4,7 日	計 8 名	教職員を対象に炊さん活動、烏帽子岳散策
31	フィールドワーク	8/25 ㈭	18 名	教職員を対象に烏帽子岳登山、および史跡探訪
32	天地あすなろ教室	6/3　11/2		佐世保市青少年教育センターとの連携